

科目名	専門分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
	小児看護学			担当教員	専任(基幹)教員							
	小児看護学領域横断											
履修学年	2年	履修学期	後期	単位数	1				28			
授業目標	1. 小児期の発達課題と健康課題に対する支援が解る。 2. 子どもの健康の保持・増進と疾病予防を担う政策・事業が解る。 3. 小児とその家族の健康的な暮らしを創造的に捉えた健康回復に向けた支援が解る											
回	学習内容					方法	担当教員					
1	1. 家族と看護 1) 家族を対象とした看護について考える (1) 家族看護の必要性 (2) 家族看護の目的と家族看護の基本 ①これまでの自分の家族のかかわりを記述する					講義	専任(基幹)教員					
2	2. 健康支援 子どもの健康を守る法律と施策 1) 母子保健施策と事業(育児支援のための母子保健活動)					講義						
3 4	2) 乳幼児の発達課題と健康課題 ワクチン日程表 3) 学童期の発達課題と健康課題 学校保健と看護					講義						
5	3. 周手術期と看護 手術を受ける小児とその家族への看護					講義						
6 7 8 9 10	4. 健康回復支援 パフォーマンス課題 「児童が慢性疾患と共に暮らすための看護」 事例:1型糖尿病、初発6歳 両親と妹の4人家族 10歳、男児、学校キャンプ中に低血糖を起こし病院搬送となる					講義・演習						
11	5. 終末期と看護 死の受容 1) 子どもと家族の死の捉え方					講義・演習						
12 13	6. 家族と看護 1) 慢性期小児患者の家族看護 2) 先天奇形をもつ児の家族看護					講義・演習						
14	試験					試験						
評価規準 評価方法	パフォーマンス課題・筆記試験 100点											
テキスト および 参考文献	系統看護学講座 別巻 家族看護学 (医学書院) 系統看護学講座 専門基礎分野 医療概論 健康支援と社会保証制度① (医学書院) 系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度② (医学書院) 専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 (医学書院) 専門分野 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (医学書院)											
履修上の 注意点												